

## 資源循環経済小委員会 各ワーキンググループの活動状況について

### <容器包装リサイクルワーキンググループ>

毎年度9月に会合を開催。容器包装リサイクル法では、特定事業者に、毎年度、主務省令で定める方法により算定される再商品化義務量の再商品化を行うことを義務付けているところ、当該再商品化義務量の算定に係る量、比率等について審議。

### <電気・電子機器リサイクルワーキンググループ>

令和8年2月に中央環境審議会の家電リサイクル小委員会との合同会合を開催。近年の家電リサイクル制度の施行状況等の報告を行うとともに、課題となっているエアコンの回収率向上に向けた取組や今後の対策等について審議。

### <小型家電リサイクルワーキンググループ>

令和6年度・令和7年度計3回、中央環境審議会の小型家電リサイクル小委員会との合同会合を開催。小型家電リサイクル制度の施行状況の評価・検討を行い、報告書案の取りまとめを実施。回収量目標である「令和5年度までに年間14万トン」の見直し、対象品目へのモバイルバッテリー・加熱式たばこデバイス等4品目の追加などについて審議。

### <太陽光発電設備リサイクルワーキンググループ>

令和7年3月に「太陽光発電設備のリサイクル制度のあり方について」を取りまとめ。その後、令和8年1月に中央環境審議会の太陽光発電設備リサイクル制度小委員会との合同会合を開催。太陽光発電事業者等への規制及び費用効率的なリサイクルを促進するためのリサイクル事業者への措置等を含む新たな法制度案の検討状況について報告を行い、既存制度並びに技術開発及び設備導入等の財政支援等の活用も含めた太陽光パネルリサイクルの推進に向けた施策について審議。

### <自動車リサイクルワーキンググループ>

令和7年度に計6回、中央環境審議会の自動車リサイクル専門委員会との合同会議を開催。自動車リサイクル法施行20年目における制度の評価・検討を行い、令和8年度に報告書を取りまとめる予定。使用済自動車の減少への対応、国内資源循環の推進、電動化の進展に伴う車載用蓄電池（LiB）の再資源化等を主な論点として審議。